

令和5年度指定管理業務に関する事業報告書（デイ）

施設名 京都市伏見老人デイサービスセンター

1 施設の管理運営

- ・介護保険法に基づく通所介護事業の実施
- ・京都市総合事業（介護予防・日常生活支援総合事業）の実施

2 事業実施内容

- (1) 指定管理業務（本来業務：老人デイサービスセンター）
- ・通所介護事業、京都市総合事業の実施とこれに伴うサービス提供（送迎、入浴、食事、機能訓練、レクリエーション、相談業務など）
 - ・通所介護計画書に基づく個々の利用者の自立支援を目指したサービスの提供
 - ・個別機能訓練計画書に基づく個別機能訓練の実施
 - ・個々の利用者に対する相談援助と関係機関との連絡調整
 - ・ユーザーアンケートの実施と第三者評価の受診、介護サービス情報の公表
 - ・日曜日と年末年始（12/31～1/3）を除く毎日開所

(2) 指定管理業務（企画提案業務：指定管理者が提案し、施設内で実施している業務。例：配食サービス）

自主事業の実施状況は、以下の通り。

3 サービス提供状況

- 【職員体制】
- ・管理者 1 名
 - ・生活相談員 2 名
 - ・介護職員 9 名
 - ・看護職員 6 名
 - ・機能訓練指導員 3 名
 - ・運転手 4 名
 - ・調理補助員 2 名

再委託の実施状況（協定書に明記のない再委託業務）は、以下の通り。（例：給食調理業務）

4 市内中小企業への発注に対する考え方

本会においては、本会経理規程により、100万円以上に関しては、一般競争入札に付することとし、100万円未満の委託業務に関しては、随意契約としています。一般競争入札の場合は、市内中小企業も含めて広く公募し、随意契約では、市内中小企業にも配慮し、見積り合わせ行っています。

5 施設の利用状況（本来業務に係る施設の稼働率、利用者数、事業参加者数など）

(1) 延べ利用者数

① 令和5年度実績値

9,721

 人

② 令和6年度目標値

10,000

 人

(2) 実利用者数

① 令和5年度実績値

1,074

 人

② 令和6年度目標値

1,200

 人

(3) 収支実績

ア 本来業務（老人デイサービスセンター）

介護保険収入	102,205,883
利用料収入	6,708,783
委託料収入	
補助金収入	
寄付金収入	
雑収入	
その他	2,315,880
収入計	111,230,546

令和5年度収入状況及び支出の状況（単位：円）

人件費	68,083,526
事業費	14,492,897
委託費	
小額修繕費	
その他	28,649,565
支出計	111,225,988

6 施設の利用者満足度の把握

(1) 利用者満足度の把握状況

令和5年12月に全利用者を対象とした法人統一のアンケートを実施。センターより必要に応じ説明の上配布し、無記名で法人事務局宛の返送による回収を行い回収率は51.1%でした。

(2) 利用者満足度把握の結果

【送迎】	満足：84.4%	やや満足：13.3%	やや不満：2.2%	不満：0%	無記入：0%
【入浴】	満足：71.1%	やや満足：6.7%	やや不満：2.2%	不満：0%	無記入：20.0%
【食事】	満足：62.2%	やや満足：17.8%	やや不満：8.9%	不満：0%	無記入：11.1%
【レクリエーション】	満足：46.7%	やや満足：33.3%	やや不満：0%	不満：0%	無記入：20.0%
【機能訓練】	満足：64.4%	やや満足：15.6%	やや不満：2.2%	不満：0%	無記入：17.8%

(3) 意見等への主な対応状況

集計結果をもとに全体で協議を行い、書面にて全利用者へ協議結果を配布しました。

7 その他特記事項

(1)

○地元小中学校の福祉体験やチャレンジ体験、また企業の新入社員研修の一環としてのボランティア実習受け入れなどを積極的にを行い、次代の福祉活動の担い手づくりや福祉意識の向上に、社会的使命として取り組みました。

○老人福祉センター利用者有志でのボランティアサークル「ひょうたん」や伏見区老人クラブ連合会から、日常的・組織的にボランティアとして関わっていただいている。職員のみ感覚による閉鎖的な運営に陥ることのないように、日々ボランティアミーティングを行い、ボランティアからの視点で全体を見ていただいております。常に風通しのよい運営を心がけている。また、「ひょうたん」については、総会の場などにお時間をいただき、会員の皆さんとの意見懇談などを行い、その活動の充実を図っています。このような組織の姿勢がボランティアには親身になってご支援をいただいているなど信頼をいただいている。

○施設の広報誌として「伏見デイだより」を毎月発行および、一般の方向けの施設パンフレットを発行し、事業所の具体的な取り組みや方針、サービス内容等をよりわかりやすくのせ、地域に広めていくことにより、施設の開放性を維持している。

○館内に伏見区社協が設置されており、地域に関する情報を共有できる事、またデイサービスとして近隣地域の拠点となれるよう学区の会合などに参加することで存在感をアピール出来るなどの独自の強みを持っている。地域交流によりすこやか学級などではデイの職員が講師役にて感染予防対策の講義活動を行ったり、区社協の受託事業である「地域安心支援事業」の対象者が生活における必要なサービスとして相談を受け、利用に繋げるなど区社協との連携をもち、社協としての理念にそった活動が行えている。

○地域包括支援センターや地域の関係者と協力し、サロン開催時に一人で参加できない方への送迎サービスの提案を行い、令和6年度から実施することになった。

(2)

○法人で取り組んでいる「チャレンジ就労体験事業」は積極的な受け入れを継続しておりその成果を上げているところである。特に、介護職を希望する体験卒業者を職員として採用しているなどしており、就労自立の一助を担っている。加えて障がい者雇用についても積極的に迎え入れられるような職場環境の構築と、業務内容を日々考察しております。

8 評価（指定管理者自己評価）

コロナがⅡ類からⅤ類に引き下げられたことが明るい材料になった。コロナ禍の事業運営に比べて運営しやすくなったが、感染対策等については継続しており業務量事態はあまり変化は見られない。基本的な感染予防対策を継続しながらの運営を続け、業務改善やサービス向上の検討、職員育成や経費削減を目的とした取り組みを行い、当センターの稼働率や運営状況が安定してきたと評価できる。もちろん現状をより良くする為の取り組みも積極的に行い、今以上の結果を残せるよう、地域の福祉拠点として発揮できる事業所を目指す。新しい取り組みとしてフラワーアレンジメントの講師に来てもらうようにしたり、地域サロンの送迎業務を提案したり新しいことにチャレンジを開始した年度となった。合同館内に障害者施設があり協力することで障害者事業への理解を深める為の関りが持っており、障害を抱えた人材についても、活躍できることでやりがいを持てるような環境を作り、本人にやりがいを持ってもらう事を全職員が理解し風通しの良い職場環境を作ることに取り組んできた。